

入院診療計画書②
【短期滞在】P-BX（前立腺針生検）

患者ID： 患者ID
患者氏名： 氏名
病名 前立腺腫瘍

主治医： 氏名
担当看護師： 担当看護師

推定される入院期間 約 2 日間

作成日：新規作成日

日付		1/0	1/1
短期滞在センター		病棟	
経過	当日（術前）	当日（術後）	1日後
達成目標	入院生活の状況、手術までの経過をイメージでき、必要な行動がとれる 安全に検査が受けられる	循環と呼吸が安定している 血尿、疼痛コントロールができる 安静が守れる 退院後の生活がイメージできる	血尿、疼痛コントロールができる 退院後の生活がイメージできる
注射	病棟または手術室で点滴をしていきます。	点滴があります。	
投薬	麻酔科医より事前に朝内服の指示のある方は、自宅で内服して来て下さい。	当日（術後）は、内服できません。	内服薬の再開については、看護師がお知らせします。 退院時の状況に合わせてお薬を処方します。
検査 放射線	必要に応じて検査を行います。		
処置		必要時、医師の指示で酸素投与を行います。 検査後帰室4時間まで心電図モニターを装着します。 手術室で尿の管を入れます。検査後6時間後尿の管を抜きます。	
食事	前日21時以降食事はできません。 前日24時まで飲水は可能です。 飲水時間が指示される場合があります。 ※入院前日のお食事は（ ）までに済ませて下さい。 ※入院前日の飲み物は（ ）までは可能です。	医師の許可が出たら、検査帰室後4時間後から水分摂取（水分制限がない場合は、1日1～1.5L程度の飲水を心掛けて下さい）夕食から食事開始となります。	
清潔	入れ歯、コンタクト、眼鏡、時計は、はずして下さい。	うがいはできます。	
排泄	制限はありません。	検査後、帰室6時間後までは尿の管を入れておきます。	
活動	制限はありません。	検査後、帰室4時間後まではベッド上安静です。 それまでは起き上がることはできません。 左右の寝返りはできます。 検査後帰室6時間後、医師の許可が出たら看護師と歩行訓練し、問題がなければ制限はありません。	
リハビリ	今回のご入院ではありません。		
看護ケア	手術室入室前に検温します。	帰室後、30分後、1時間後、2時間後、18時、20時に検温します。	1回検温します
確認事項	物品（T字帯、平オムツ）を確認します。 入院前にご準備をお願いします。		退院は会計終了後、9時30分に退院となります。 看護師より退院時、領収書（預かり書）の確認をした後、ネームバンドを切ります。 忘れ物の確認をしますので、お部屋でお待ち下さい。
指導	・腕にネームバンドを装着します。 ・貴重品はご家族へ預けてください。 ・検査当日は、ご家族の付きそいが必要です。 ・公共の交通手段で来院をしてください。 ・ご家族は、センターでお待ちください。病棟へご案内します。	・検査後、医師が検査経過を説明します。 ・おしっこがしたいような感じが強い時や、痛みがある時は薬を使うと軽減しますので我慢せずにお伝え下さい。 尿道の管を抜いた後、夕食頃まで水分を多くお摂り下さい。 ・排尿状態を記録用紙に記入し、最初に出た尿は、色と量を確認したいので、看護師に見せて下さい。 ・看護師より別紙パンフレットを用いて、日常生活の留意点、退院の説明をします。 安心して退院できるように気がかりなことなどありましたらおたずね下さい。	・医師より次回外来（約2週間後）で結果についての説明があります。

【注意】・診療内容などは現時点で考えられるもので、今後治療を進めていくに従って変更する場合があります
・入院期間については、現時点で予測されるものです。